



令和5年3月15日
第486号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

春を迎えて～桜から学ぶ～

校長 飯塚 進

今年は例年になく気温が低く、寒い冬だったように思います。ようやく春か近づき、うれしいためか、走って登校する子どもたちが増えているように思います。

今年度も卒業式が近づいてきました。6年生のみなさんは、本当に素晴らしい最高学年だったと思います。4月の入学式準備から、運動会や委員会活動、東豊まつりなど、様々な場面で、全校を引っ張ったり、支えたりと力を発揮してくれました。2月24日に「六年生を送る会」を5年生が中心になって企画・運営をしてくれました。全校の子どもたちからの6年生への感謝の気持ちのこもった温かい会でした。いかに素晴らしい6年生だったかが分かるものでした。6年生のみなさんは、胸をはって卒業してほしいと思います

さて、春になると桜の花が待ち遠しくなります。桜の花といえば、興味深い話を聞いたことがあります。それは、今から100年ほど前、多くの日本人がブラジルへ移住した時の話です。移住する際、身の回りの便利な物や日本の文化なども一緒にもっていったそうです。ところが、その中に一つだけうまくいかなかったものがあつたというのです。それは桜です。日本の桜の花を見たいと考え、ブラジルで植えたそうですが、何故か花が咲かなかったというのです。調べたところ、ブラジルには寒い冬がないからだということが分かったのです。つまり、桜の花は寒くつらい時期を過ごさないと、花を咲かすことができないのです。(※)このことは、私たちの生活と重ねて考えることが出来るのではないかと思います。私たちは生活する中で、うれしいことや、楽しいことをたくさん経験します。一方で、時には悲しいこと、苦しいこと、つらいこともあります。子どもたちには、そんな時、ぜひ桜の花を思い浮かべてほしいと思っています。この苦しさ、つらさは、花を咲かせる準備なのだと考えてほしいのです。決してあきらめないで、一步一步歩み続け、自分らしい花を咲かせてほしいと思っています。

今年度も、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなど、御心配や御迷惑をおかけすることが多かった1年間ではありましたが、年度末を迎えることができます。保護者、地域の皆様には、東豊小学校を見守り、支えていただきましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

(※現在のブラジルでは、品種改良等により、咲くことができる桜があるそうです。)